

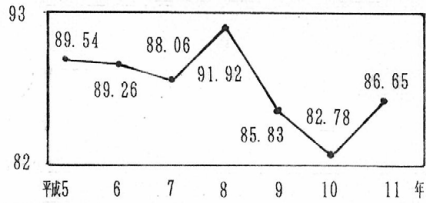
薬剤師国家試験結果発表

～女子の合格率九割を割る～

国家試験は四年前から問題傾向が変わり、年々難易度を増している。全問題の五十%が医療薬学となり、二十五%を基礎薬学が占めている。これらを制することが、合格の鍵となる。その為には、一年時からの計画的な勉強の積み重ねが重要である。今回も、本学生の見通しの甘さと、大卒の対応の遅れが敗因となっ

たようだ。国試担当の渡部烈教授に、薬学部の学生に向けて指言葉をお願いした。大学側は、この合格率の低下を深刻に受け止め対策を練り始めている。まずは医療薬学の充実である。実際、今年から演習をカリキュラムに取り入れた、強化している。次に、卒試の合格ラインを六十%に上げることである。それは、学生達に高いハードルを与えることで、学力の向上につなげることを意図している。また、国試の合格ラインが六十%であることも理由の一つだ。更に、あくまで予定段階にすぎないが、進級基準である未修得単位数を減らすことを考えている。このように厳しくすることに、普段から学生に勉学に対する緊張を持たせ、気を引き締めさせたいと思っ

国試合格率推移



	平成10年度	平成11年度
本学合格率		
新卒	82.78%	86.65%
既卒	40.16%	50.66%
総合	73.86%	77.67%
私大合格率		
新卒	83.48%	87.09%
既卒	49.02%	55.30%
総合	74.90%	78.75%
全国合格率		
新卒	82.01%	86.15%
既卒	46.28%	53.29%
総合	72.74%	77.10%



発行所 東京薬科大学 新聞会
責任者 矢内 光

五月号

「人生は美しい」、あなたはこの言葉から何を感じたのだろうか。恋して、笑って、愛し、そして時には言葉にならない悲しみ。でも人生はこんなにも素晴らしい。この作品はそんな事を心に届けてくれる。また、アカデミー賞では外国語映画賞、作曲賞、主演男優賞も受賞している。

さて、舞台は一九三〇年代のイタリア。明日をも知れない極限状態に置かれたながらも、決して人生の価値を失わず、豊かな想像力を駆使して愛する家族を守りぬいた勇敢な男の物語である。全ては、最愛の妻ドーラとロベルト・ベニーニ(監督)がほつりはつりと現れたすの

平成十一年度入試結果

薬学部(男子部)	募集人数	受験者数	合格者数	倍率
推薦	40	131	41	3.2(4.0)
一般A方式	20	782	121	6.5(7.8)
一般B方式	160	1,317	306	4.3(3.9)
合計	220	2,230	468	4.8(4.7)
薬学部(女子部)				
推薦	40	295	43	6.9(7.4)
一般A方式	20	879	126	7.0(7.1)
一般B方式	160	1,078	212	5.1(4.2)
合計	160	2,252	381	5.9(5.4)
生命科学部(分子)				
一般推薦	20	68	23	0.6(3.3)
A方式	10	1,024	159	6.4(-)
B方式	55	1,043	207	5.0(6.4)
C方式	10	88	9	9.8(2.6)
合計	95	2,223	398	5.6(5.1)
生命科学部(環境)				
一般推薦	15	48	19	2.5(3.2)
A方式	7	453	76	6.4(-)
B方式	30	498	115	4.3(4.6)
C方式	5	44	2	22.0(3.3)
合計	57	1,043	212	4.9(4.4)

平成十一年度入試結果

「人生は美しい」、あなたはこの言葉から何を感じたのだろうか。恋して、笑って、愛し、そして時には言葉にならない悲しみ。でも人生はこんなにも素晴らしい。この作品はそんな事を心に届けてくれる。また、アカデミー賞では外国語映画賞、作曲賞、主演男優賞も受賞している。

先日、本学の平成十一年度入試結果が発表された。結果は左表の通りである。薬学部は、志願者数が女子部が増したが、男子部・女子部共に実質倍率は、例年に比べて大きな変化は見られなかった。B方式では、英語・化学の難易度は例年通りであった。しかし、数学では平均点の上昇がみられた。この原因として、問題が易しかったこと、受験生のレベルが上がったことなどが考えられる。

「人生は美しい」、あなたはこの言葉から何を感じたのだろうか。恋して、笑って、愛し、そして時には言葉にならない悲しみ。でも人生はこんなにも素晴らしい。この作品はそんな事を心に届けてくれる。また、アカデミー賞では外国語映画賞、作曲賞、主演男優賞も受賞している。

現在、野球界を騒がせている怪物と言えば、松坂大輔である。彼は、甲子園優勝投手の名に恥じないピッチングを見せているが、過去にも同じ「大輔」という名前が、甲子園を賑わせた投手がいた。彼の名前は、荒木大輔。元ヤクルトスワローズの選手で、現在は野球解説者として活躍している。当時その人気は凄まじく、新生男児の名前のトップが「大輔」になるほどであった。このように、名前にも時流というものがあるらしい。特にその時有名になった人の名前を付けることが多いようだ。今なら「拓哉」などが考えられるだろう。また、世にも子供の名前に影響を与えている。平成不況と言われている現在では、世の中の暗く圧迫した雰囲気から抜け出したという想いから「翔」が付いた名前が多いと聞いた。なるほど人の名前というのは、生まれた時代を表わす鏡と言わなければならない。昨日の子の名前は「子」から「カミナリ」になった。私も最初は何のことかわからなかったが、これは名前の止め字のことである。「子」の付く名前が少なくなり、そのかわり「カ」や「ミ」などを使うことが多くなったというのである。このような近年人気の止め字を集めてみると「カミナリ」になるらしい。これも時流の一つの形なのだろう。また、最近では字の意味からだけでなく、音の響きやイメージで名付ける傾向が強くなってきている。だが、いつの時代でも親の名前に入る想いというのには変わりはないようだ。子供の将来を思い、成長を願って付けるものなのだろう。親の願いが込められている名前。あなたは自分の名前に何を思うだろうか。(手羽先)

「人生は美しい」、あなたはこの言葉から何を感じたのだろうか。恋して、笑って、愛し、そして時には言葉にならない悲しみ。でも人生はこんなにも素晴らしい。この作品はそんな事を心に届けてくれる。また、アカデミー賞では外国語映画賞、作曲賞、主演男優賞も受賞している。



二大 学部長長語る

祝・新薬学部長就任

薬学部

長坂達夫教授

昨年まで薬学部長を務められていた栗津洋司教授の御退職に伴い、長坂達夫教授が新たに薬学部長に就任された。そこで今回、新聞会では長坂教授に新学部長としての抱負を伺った。

「大学の評価は主に研究と教育で決まる。各研究室の活動は、年々活発になっており、国際的な研究も数多い。しかし、教育については、まだ改善すべきことが多いと思っている。私は全ての学生が薬学に対する興味を失わずに、四年間勉学に励めるような教育をしていきたい」

さらに今後、本学がどうあるべきか、意見を伺った。

「大学の発展には卒業生の活躍が不可欠だ。薬学に限らず色々な分野での活躍を期待している。大学にとっても大

切なのは、就職率や国家試験の合格率が高いことばかりではない。大学がどんな人材を育てているか、そして卒業生がどんな活躍ができるのか、である。これが大学の存在価値と言えよう。薬学部だからといって、薬剤師資格を最終目標と考えるのではなく、学問そのものを身に付けることを目指して欲しい」

また、生命科学部との連携拡大に同じようにも研究室間でのつながりは続けるが、合同での授業や単位の併用は考えていない。単位数が異なると、事務が煩雑なことや、講義内容による学生の偏りなどがその理由だ。現時点では時期尚早というのだ。

「昨今、不況の影響から薬剤師の有資格者も希望通りの就職が難しいと言われている。この点についても伺った。

「就職先の大部分を占めるようになってきたのが調剤薬局だ。確かに臨床薬剤師は花形とも言える存在だが、薬局での調剤も薬剤師の専業だ。また、調剤薬局の仕事も大きく変わりつつある。医薬分業の流れを受け、薬に関する情報提供が加わった。実際に患者と接する機会も増え、顧客からの信頼や人間性が重視されてきている」

長坂教授が教育面での改革や、本学の在り方を真剣に考えてくださっているのは、学生にとっても心強い。「自分の長所を一生懸命伸ばし、学生自身が自信を持って学生生活を送って欲しい」という教授の言葉を一人一人がしっかりと認識するべきだろう。

「生命科学部学部長である大島泰郎教授は、伊豆の温泉に住む好熱菌の発見者として有名だ。その好熱菌を使って、全タンパク質を決定するというプロジェクトが動き出す」として研究している。そこでこのプロジェクトについて取材した。

まず最初に、好熱菌の性質と、教授の研究の概略について伺った。好熱菌の細胞を構成している核酸やタンパク質は、温泉の様な熱湯中でも変性しない。最初の生命は、温泉の様な環境で始まったと考えられている。つまり好熱菌

を研究することで、初期の地球環境を推測できるのだ。そして教授は、なぜ好熱菌のタンパク質が熱に強いのか等について研究している。

ではなぜ、プロジェクトの研究対象として好熱菌が選ばれたのだろうか。教授によれば、好熱菌のタンパク質の単離が容易なことが第一の理由だそう。その過程はまず、大腸菌に好熱菌の遺伝子を移植・培養する。そしてタンパク質の熱に強いという特性を利用して、熱処理して目的のタンパク質以外のものを壊すと

新歓行事

本年度も昨年と同様に新歓行事の一環として新歓学術スポーツ大会、新歓音楽祭、学術研究発表会、春展が開かれた。各行事とも部門の特色を活かしたものであった。

最初の新歓行事として四月一日から三日にかけて、北野大学セミナーハウスにて新歓キャンプが行われた。劇やコンパネルディスカッション等が催された。夜には立食パーティも開かれ、新入生の不安を取り除く絶好の機会になったようだ。

四月十四日、二十一日の両日PITにおいて、音楽祭が開かれた。参加した団体は合唱団、軽音楽部、ギターアンサンブル、ハルモニオ管弦楽団であった。各団体とも曲数ずつを披露し、それぞれの個性が出た演奏に会場も賑わいを見せた。

四月二十四日には、第二十回学術研究発表会が学術部門によって開催された。多くの研究テーマが身近なものであり、新入生に親しみやすい内容であった。発表は、専門の知識がなくても理解しやすいように企画されており、興味をそそられた人も多かった発表会であった。

四月二十四日には、第二十回学術研究発表会が学術部門によって開催された。多くの研究テーマが身近なものであり、新入生に親しみやすい内容であった。発表は、専門の知識がなくても理解しやすいように企画されており、興味をそそられた人も多かった発表会であった。

自治議長交代

先月二十一日、自治委員会定例会議において、平成十一年度自治委員会常任幹事議長団が左記のように決定した。

議長 藤田悟志
副議長 小野真衣子
書記 丸山慶一郎
副書記 岡安亜紀子
会計 広瀬聡一 (敬称略)

新聞会では、本年度議長に就任された藤田悟志さんに委員会運営上の抱負を伺った。「今年度の自治委員会議長になりました藤田悟志です。本委員会は学生大会に次ぐ議決機関で、委員会に寄せられた意見等を一つ一つ議論する場です。私は本委員会を皆さんの意見を反映し、よりよい大学生活を送るための基盤にしたいと思っています。そのためにも皆さんの「声」が必要で、是非、要望等を本委員会にお寄せ下さい」

行事予定

五月十五日(土) マラソン大会

暖かくなると、どうしても眠くなる。これが暑くなってしまったら、いけない。心地よく眠るには、暑くても暑くてもいけない。暑くても眠れないが、心地よい眠りには暑さが良く似合う。眠りには暑やかさも必要。どかさが求められる。と思うが、皆さんはどうか? (直治)

編集後記

α新聞会員二人の風邪ウィルスがミューテーションを起こして私を攻撃、見事に撃沈した。ゴールデンウィーク直前のごとである。(L)

β私は偽偽偽者です。ここは偽偽者が多くて困ってます。(えせ徳)

γなんか最近、朝起きると妙に四国にお湯路しに行きたくなるよねえ。どうしたんだろう私? 感じた。ああ三十三間堂の千手千眼観世音菩薩像群あたりが私を呼んでいるかも。(馬鹿?) (沙恵)

δああああ。一体、私は何をどうしたいんだろう? でもね、もうどうしようもないんだ。止まらないの、止められないの。(裕佳)

☆何か誤解されているけど、私はまだ人間ですよ。(C)

◎ゴールデンウィーク中に妹が実家から来たが、その時に買ったプレステのコントローラー1つ持って来ました。デューアルショックがああ。それよりも、プレステができる日はいつかな? (手羽先)

◆二年生になって、実験できると思った。だから、一月実習休みだした。だから、その分新聞会にエネルギーをつぎこんだ。疲れた...。(直)

生命科学部大島泰郎教授

「最近新聞を開いてみると「NATO空爆」や「ガイジン」が載っている。それぞれ話題になっている興味深い記事だ。しかし、テレビ欄しか見ないという人もいるのはどうしてだろうか。大学生ともなれば、社会に對してなんらかの関心があるのだ。新聞はその興味に対する知識を得る絶好のチャンスであるはずだ。

学生が新聞を読まない理由として、社会に對し関心が薄いためであったり、内容が難しくて嫌になったりすることが挙げられる。確かに新聞の用語は難解である。記事の内容も政治や国

にしたほうが理解しやすく、新聞を圧倒するのはインパクトは強い。しかし、テレビは便利な反面、情報を一方的に受けとるだけにやらず、それに対して新聞は、自分の意見を持ち、内容を吟味しながら読むことができる。そして、繰り返し読んだ記事をお勧めする。(松岡)

新聞を読むという事は知識を得るだけにとどまらず、新聞を通して社会に對し意見を持つということでもあると思う。新聞はコラム等読みやすい記事もある。興味のある記事から選んで、今日からでも、新聞を読むことをお勧めする。(松岡)

新聞ノススメ